

2022年5月29日（復活節第7主日、昇天後主日、C年）

## 牧師メッセージ

### 「イエスの祈りのゆえに」

（ヨハネによる福音書 17:20-26）

司祭ヨセフ太田信三

教会の暦は昇天日を経て復活節最後の主日を迎えました。主イエスのご受難の後、絶望のなかにいた弟子たちの真中にあらわれてくださいました。けれども主イエスは、再び弟子たちのもとを離れ、天に戻られます。この時、「わたしは、あなたがたを孤独にはしておかない（14:18）」と言われる主イエスは、ご自分が昇天した後も弟子たちのことを守ってくださるよう神に祈り、とりなしてくださいました。それが今日の福音、主イエスによるとりなしの祈りです。主イエスのとりなしの祈りによって降される神の助けがあるから、弟子たちは主イエスが昇天してしまっても、働きを受け継ぎ、担っていくことができます。

主イエスの働きを受け継ぐ。それは、主イエスと同じように神から離れさせようとするあらゆる力から挑戦を受ける歩みです。それはこの世においては孤独の道です。主イエスはその孤独に最後まで耐えられましたが、わたしたちはその孤独に耐えることはできません。しかし、主イエスはわたしたちを孤独にはしておきません。そのために主イエスは、「父よ、わたしに与えてくださった人々を、わたしのいる所に、共におらせてください。」と祈ってくださるのです。この祈りに神が応えられたから、昇天後も聖霊降臨によって、そしてみ言葉を通してわたしたちは主イエスと共にいることができ、わたしたちは孤独のままにされることはないのです。

とりなし主なるイエス・キリストは、「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。…わたしが彼らの内におり、あなたがわたしの内におられるのは、彼らが完全に一つになるためです。」と祈り、いつでもわたしたちと一つであること、そしてご自身を通してわたしたちが神と一つとされることを願ってくださいました。この祈りのゆえに、わたしたちは孤独ではありません。

ご自分の命をささげて神に従った主イエスの祈りを、神は必ず聴いてくださいます。そのことを証ししているのが、聖霊降臨の出来事に他なりません。主イエスの祈りを聞かれたからこそ、神は約束の霊を降しました。主イエスのとりなしの祈りは、聖霊が降されることで成就したのです。さあ、いよいよ来週、わたしたちはそのことを祝う聖霊降臨日を迎えます。